

〈国際学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
1	平等の神話と格差社会/アメリカ	川畑 由美 (アメリカ文化)	アメリカ合衆国はヨーロッパ的階級社会と反した共和国として出発した。しかし、一方ではアメリカでは、歴然とした貧富の差や地位の差が世代を超えて固定的なものとなっているという事実がある。格差社会アメリカの実情に迫ってみよう。
2	「国際英語」って何？	柏木 厚子 (英語教育・応用言語学)	現在、英語は国際コミュニケーションのツールとして広く非母国語話者の間で使われています。このアメリカ英語でもなくイギリス英語でもない「国際英語」について発音を例にとって説明します。
3	異文化コミュニケーション ・ワークショップ	柏木 厚子 (英語教育・応用言語学)	文化背景の異なる人々とコミュニケーションをするための第1歩は「あれっ」と思う気付きです。具体的な事例を通じて頭のエクササイズをしましょう。
4	移民と言語	李 守 (朝鮮語学・社会言語学)	人口が減少に転じた日本は移民の活力を必要としている。日本経済をささえる労働力として期待される移民は、異言語・異文化の担い手でもある。かれらと共存するため日本社会はなにを求められるのか？ 考える糸口を提供したい。
5	スイスってどんな国？スイスの民主主義	寺島 政子 (ドイツ語・ドイツ文学)	ドイツ語圏の一つであるスイスは、国名は知られていますが、ではどんな国かと問われたら返事に詰まってしまうのではないのでしょうか。意外と知られていない面が多々あります。ハイジとチョコレート以外のスイスの姿を学びましょう。スイスは永世中立国として平和のイメージが強い、民主主義国家です。一口に「民主主義」といっても各国ごとにさまざまです。バランスを重視した多言語国家スイスの民主主義を学びましょう。
6	国際協力ってどんなことをするの？	米倉 雪子 (国際協力・開発研究)	発展途上国への国際協力を事例に、どのような協力が現地の人々にとって本当に役立つのか、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に貢献できるか、一緒に考えてみましょう。
7	「ハングル」ってなに？	徐 珉廷 (日韓対照研究・認知言語学)	韓国語をまったく知らない学生を対象に、簡単なあいさつからハングルの構造や韓国語の母音について、文化や歴史的な背景をまじえて説明します。
8	英語でのコミュニケーション	渡邊 知子 (英語教育・応用言語学)	様々な国や地域からの人たちの英語でのコミュニケーションにおいて、どのように英語の表現が使われているのか、文化的背景などによりどのような違いがあるのか、といったことを考えていきます。
9	言語ってなぜ学ぶの？	小倉 麻由子 (スペイン語教育学・応用言語学)	機械翻訳技術が進むSociety 5.0を生きる皆さんは、なぜ外国語を学ぶ必要があるのでしょうか？これまでなぜ英語を学んできたのでしょうか？そして今なぜプラスワンの言語が必要なのでしょうか？ぜひ一緒に考察しましょう。
10	アメリカの歴史と政治文化	矢島 宏紀 (アメリカの歴史・思想)	知っているようで意外と知らないことが多い国アメリカ。新しい国のように、いまにつながる政治制度の基本は200年以上前に成立しています。大統領選挙や銃問題を歴史的な視点で考えます。

〈英語コミュニケーション学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
11	Use Your Head	デイヴィッド・コージー (コミュニケーション論・アメリカ文学)	英文を読んだり、英語の音を聞き取って理解するには目や耳を使いますが、それだけでは十分とは言えません。何より大切なのは頭を働かせてよく考えることです。この授業では、目や耳や頭を駆使して英語をしっかりと理解する方法を学びます。授業は英語です。
12	英語を「習得する」ってどういうこと？	高味み鈴 (英語教育・第二言語習得)	この疑問について考えてみると、皆さんにとって効率的な英語学習方法が見つかるかも知れません。少しだけ言語習得の分野を学んでみませんか。
13	英語で紹介する日本社会	重松 優 (日本学)	私は、ふだん、留学生向けの授業も行っています。外国人に日本の文化を紹介するときに、どのようなことが大事なのか、お話しします。

〈ビジネスデザイン学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
14	投資意思決定の基礎	本合暁詩 (コーポレートファイナンス)	企業は日々様々な意思決定を行っており、特に工場建設や事業の買収といった長期的な「投資」は企業の価値に大きな影響を与えます。この意思決定の基本を、数値計算を交えながら解説します。
15	「デジタル化」の脅威とDX (デジタル・トランスフォーメーション)	馬場康志 (技術経営)	あらゆる情報がデジタル化される中で、もともと同じ業種だったのに、生き残り発展してきた企業と、衰退し消え去った企業があります。デジタル化への対応で両者は何が違ったのか、事例を交えて説明します。
16	経営戦略論入門	三浦紗綾子 (経営組織論、経営戦略論)	企業が利益を上げるため・生き残るための方法が、経営戦略です。経営戦略とは何かを、身近な例を使って説明します。経営戦略の考え方を使って、様々な社会現象と一緒に分析してみましょう。

〈会計ファイナンス学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
17	デートに行くかバイトに行くか	山田 隆 (ファイナンス)	人生は自分が選択したもので決まると思われていますが、実は「選ばなかったもの」にも大きな影響を受けているのです。どうしたら正しい価値判断ができるのかを講義します。
18	高校生活とパーソナルファイナンス	関 憲治 (財務管理論)	生活していく上で必要となる「お金」の知識を学びます。特に、今後のライフプランとそれを支える「お金」に焦点を当て、必要な知識を説明した上で、一緒に考えてみます。
19	女性のキャリア形成とビジネス	小森 亜紀子 (教育社会学)	広義の「キャリア」とは、長いタイムスパンの仕事や生活のことです。どのようなライフスタイルで生きていくのか、そのために大学時代に何をするのか、一緒に考えてみませんか？
20	日本とフランスの大学生女子の意識の差	小森 亜紀子 (教育社会学)	フランスと日本の大学生女子の考え方、どこが似ていて、どこが違うのか、違うとすると何が原因なのか、データを比較しながら一緒に考察しましょう。
21	簿記会計の魅力と将来性	加納 輝尚 (会計学・税務会計)	簿記会計を学ぶことは皆さんの将来のキャリアアップにつながります。そんな奥の深い簿記会計の世界を、皆さんに共に見ていきたいと思えます。
22	経験マーケティング： なぜディズニーリゾートに心惹かれるのか	高木 俊雄 (経営学)	なぜ皆さんはディズニーランドやディズニーシーに何度も行きたくなるのでしょうか？このことについて、マーケティングにおける良い「経験」の観点から考えていくことにしましょう。

〈日本語日本文学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
23	古事記の世界 —ヤマトタケルノミコト—	鳥谷 知子 (上代文学)	ヤマトタケルノミコトは大和国平定において、悲劇的な最期を遂げ、その魂は白鳥と化して天翔る。東征において倭建を助けるのも死に導くのも、草薙剣であった。悲劇の物語と剣の関わりを考えたい。
24	源氏物語絵巻	胡 秀敏 (中古文学)	十二世紀に完成した「国宝源氏物語絵巻」は現在、当初の4分の1しか残っていないが、物語のエッセンスが描かれている。文字だけでなく、絵巻を通して王朝貴族の恋愛や遊びなど、日常における美的センスをとらえ、源氏物語の魅力に迫りたいと思う。
25	室町時代の流行歌謡	山本 晶子 (中世文学)	室町時代の流行歌謡を集めた『閑吟集』の歌を取り上げ、中世という動乱の世に生きた人々の思いを読み解きます。視聴覚資料を用いて、芸能の中で歌い継がれている小歌もあわせて紹介します。
26	国民的名作「坊っちゃん」の魅力	笛木 美佳 (近代文学)	100年以上も前に書かれた「坊っちゃん」はなぜ今でも絶大な人気を誇っているのでしょうか。歯切れの良い語り口？ 明快なストーリー？ 人好きのする主人公？ それだけではない、心の琴線に触れるものがあるのです。
27	太宰治「トカトントン」を読む	山田 夏樹 (近代文学)	太宰治「トカトントン」では、終戦後の世界で何かを行おうとする度に幻聴に悩まされ、何も出来なくなる青年と、それをたしなめる某作家の姿が描かれます。その構図にどのような意味があるのか、解釈していきます。
28	樋口一葉の「日記」を読む	吉田 昌志 (近代文学)	五千円札の「顔」になっている樋口一葉は、24歳で亡くなる直前まで、詳細な日記をつけていました。この日記を読みながら、若い女性のさまざまな心のゆらぎを見つめてみたいと思います。
29	石川啄木と唐詩選	市川 清史 (中国文学)	石川啄木は若い頃から唐詩に深く親しんでおり、「一握の砂」「悲しき玩具」の短歌には多くの影響がみられることが指摘されている。高校生にも漢詩に興味を持ってもらうためにこれをわかり易く話していきたいと思う。
30	少女小説を読む	福田 委千代 (児童文学)	戦前に書かれた「少女」のための小説を読みます。主人公である「少女」の葛藤を通して、現代とは異なる子ども観や家族観が見えてくることを確認しましょう。併せて、和装が主流だった頃の女子のファッションや流行なども読み取ります。
31	気になる日本語	須永 哲矢 (日本語学)	敬語・ら抜き言葉・若者言葉など、日頃ちよつと気になる日本語について、言語研究という立場からの考え方を紹介する。その中で古典文法と現代語のつながりについても簡単に触れ、古典学習の一助としたい。
32	日本の方言	嶺田 明美 (日本語学)	日本は地域によって使われることばが違います。いわゆる方言です。なぜ、地域によって違いがあるのでしょうか。共通語と方言が接触したときにどのような現象が起きているのでしょうか。実際の方言を取り上げながら考えます。
33	日本語とコミュニケーション	宮寄 由美 (日本語学)	私たちは他者と円滑にコミュニケーションをとるため、どのような方法で伝え、どのようなことばを使っているのでしょうか。具体的な場面を想定し、あなた自身や他者のより良いコミュニケーションについて考えてみます。
34	日本語の文法	植松 容子 (日本語教育)	「私は鈴木さんにプレゼントをあげました」は言えるけど、「鈴木さんは私にプレゼントをあげました」と言えないのはなぜでしょうか。英語だったらどちらも“give”で言えます。授受表現を例に、外国人に教えるための日本語の文法について考えてみましょう。
35	外国人との会話	大場 美和子 (日本語教育)	日本語を学習している外国人が日本語で日本人と話す時、何が難しいと感じるのでしょうか。日本人が何に気を付けると外国人は話しやすいと感じるのでしょうか。外国人との楽しい会話をめざして、日本人の話し方の特徴についてお話しします。
36	外国人の日本語	西川 寿美 (日本語教育)	日本国内だけでなく世界各地で日本語を学ぶ学習者が増えています。外国語として日本語を教えると、母語話者が考えたこともない問題に遭遇することがあります。学習者の日本語の誤用などを取り上げて外国語として学ぶときの日本語の特徴について考えます。
37	日本で働く外国人	近藤 彩 (日本語教育)	外国人が働く現場の一部を紹介しながら、外国人とのコミュニケーションについてお話しします。番組“Easy Japanese for Work しごとのにほんご”(NHK World)やケース教材を使って、より良いコミュニケーションについて考えていきましょう。
38	最新のWebデザインとその技術	田中 均 (図書館情報学)	インターネットを使うときにスマートフォンやタブレットを利用することが広がっています。それに対応してWebサイトのデザインが変革期を迎えました。モバイルファーストデザインやフラットデザイン、UX/UI、Webユニバーサルデザインなど最新のWebデザインとその技術を紹介します。
39	絵本と読み聞かせの意味と意義	池田 美千絵 (図書館情報学)	子どもと絵本の出会いを作るものとして読み聞かせがあります。読み聞かせとは、読み聞かせに適した絵本とは、どういふものなのでしょうか。実際に読み聞かせを体験しながら考えていきます。いくつかの絵本も紹介します。

<歴史文化学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
40	幕府とは？大名とは？	野口 朋隆 (日本近世史)	江戸時代は、幕府と藩からなる幕藩体制を基本的な枠組みとする社会でした。しかし幕府のなかの将軍や大名はどのような関係にあったのでしょうか。講義では新しい研究成果を踏まえて分かりやすく説明していきます。
41	デジタルアーカイブで新選組の実像に迫る	三野 行徳 (アーカイブズ学・日本近世史)	新選組局長近藤勇は多くの手紙を遺しており、近年、インターネットでも画像を見ることができるようになりました。近藤の手紙を読み解き、フィクションの世界の新選組とは異なる実像に迫ります。
42	過去を「体験」しよう	松田 忍 (日本近現代史)	私たちの身体は過去に行くことはできません。しかし残された史料を通じて過去をかいま見ることができます。追体験することもできます。そうですね、さしあたり60年前に行ってみましょうか。この日本列島に私たちの知らない異世界が広がっているはずです。
43	古くとも新しい西洋	湯上 良 (西洋史)	感染症や戦争・紛争で混迷を深める世界。文字記録が大切に受け継がれてきた西洋には、モノ自体は古くとも、そうした現実に対しても新しい発見がたくさんあります。石板からデジタル文書まで、その魅力を感じつつ、現代や文化について考えてみましょう。
44	東洋とは何か？	牧野 元紀 (東洋史)	東洋とは西洋(欧米)との交流から生まれた歴史的地理概念です。「非」西洋の地域は日本を含めて全て東洋です。東洋は西洋の人々によっていかに「発見」され、なぜ「記録」されたのか。デジタル史料を活用しながら一緒に考えてみましょう。
45	もっと知りたい！観光と世界	三原 昌巳 (人文地理学)	良く知られる具体例を素材にし、観光がどのように誕生し、どのように発展してきたのか、地域社会にどのような影響をもたらしたのかを学び、観光の歴史について一緒に考えます。
46	レオナルド・ダ・ヴィンチの壁画を読む	永井 裕子 (西洋美術史)	世界的に有名なレオナルド・ダ・ヴィンチ作の《最後の晩餐》について考える授業です。【何が】描かれているのか、【どのように】描かれたのか、【なぜ】傑作とされるのか、絵画作品を読み解いてみましょう。
47	民俗と芸能	大谷津 早苗 (日本芸能史)	日本各地に伝承されている民俗芸能を取り上げ、民俗学や芸能史・宗教史・国文学などと関連させながら、伝承資料としての民俗芸能の特色と価値を考えます。また、芸能表現の背後にある日本人の心意も探してみたいと思います。
48	発掘から何がわかるか	小泉 玲子 (日本考古学)	考古学の調査研究によって、どのように古代の人々の暮らし(食生活や埋葬など)を復元することが出来るかについて、大学で実施している発掘調査の例を交えて講義します。
49	科学を用いて江戸・明治の匠の制作技術を探る	田中 真奈子 (文化財保存学)	科学による分析技術を用いることで、秘伝とされてきた文化財の材料や制作技術に関する情報を得ることが出来ます。日本刀、自在置物、絵画などの具体的な分析を通してわかってきた、江戸・明治の匠の高度な技術を紹介します。
50	江戸の「新しもの好き」たち —西洋画へのあこがれと受容—	鶴岡 明美 (日本美術史)	18世紀後半、江戸時代も半ばを過ぎるころ、オランダや中国といった限られた国々との交流を通じてもたらされた西洋画に魅入られ、その表現に倣って作品を残した画家たちがいました。彼らの努力の跡をたどるとともに、こうした西洋風の画法が当時の人々の好奇心を刺激したことで生まれた、洋風の浮世絵版画についても紹介します。

人間社会学部

<心理学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
51	「見る」の心理学	池上 真平 (認知心理学)	私たちが見ている世界は、本当に「ありのまま」の世界でしょうか？実際に体験しながら答えを探していただきます。
52	社会心理学の研究とは	清水 裕 (社会心理学)	社会心理学ではどのような研究が、どのような方法で行われているのか、「他者への援助行動」を具体例にして紹介します。
53	非行臨床心理学	田中 奈緒子 (臨床心理学)	非行に関わる諸機関の役割と心理職の仕事など、臨床心理学の立場から、非行少年への心理的支援について紹介します。非行少年の社会復帰を支える人々の具体例を通じて、社会で何が求められているかを考えてみましょう。
54	発達障害の心理臨床	松永 しのぶ (発達臨床心理学)	自閉スペクトラム症の子どもたちの心と行動の特徴をみていきながら、発達障害を理解するための心理学的知見を紹介します。発達の凸凹や特性について一緒に考えながら、心の発達に対する関心につなげていきたいと思います。
55	人間の推論の「誤り」と認知心理学	松野 隆則 (認知心理学)	人間の思考能力は素晴らしく見事である。しかし、論理形式や数値情報に関して推論・判断を行なう際に、時として論理学や確率論と一致しないことがある。人間の推論の偏りを示す例を挙げ、認知心理学的に考察する。
56	心理学から学ぶ、ストレスとの付き合い方	増淵 裕子 (臨床心理学)	同じ出来事を体験しても、ストレスを感じる人とあまり感じない人、ストレスが気持ちに出やすい人と身体に出やすい人など、ストレスの感じ方や表れ方は人それぞれです。ストレスの理解とその付き合い方について、心理学の知見をもとにお話しします。

<福祉社会学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
57	ライフ&キャリアデザインと生活経営	伊藤 純 (生活経営学)	本講義では、人生100年時代の私たちの生活経営上の課題を考え、ライフ&ワークキャリアの観点から必要な社会福祉資源や獲得すべき生活福祉経営能力について考えます。
58	21世紀に求められるソーシャルワーカー	北本 佳子 (ソーシャルワーク)	少子高齢社会の進展の中で、ソーシャルワークによる支援がますます注目されています。ソーシャルワークを担う専門職であるソーシャルワーカー について、その意義や役割などを多面的に学びます。
59	患者の身体ー心理ー社会を支援する	高橋 学 (医療福祉論)	人が『病』を持つことによって体験するさまざまなストーリーを理解し、心の回復や社会的復権を支援する技術について考えます。
60	敗戦後の子どもたちー「あの日のオルガン」と児童福祉法	川崎 愛 (児童家庭福祉)	第二次世界大戦末期の度重なる空襲や原爆の投下により、かけがえのない命が奪われました。空襲や学童疎開で実家を離れている間に家族を失った戦争孤児がどのように戦後を生き抜いたのか、「児童福祉法」の施行は社会に何をもたらしたのかを考えます。
61	子どもの「居場所」づくり	渡辺 剛 (体育学)	親子のスポーツクラブ、こども食堂、子育て応援フェスタ、子どもの習い事教室などの実践活動を通して、子どもの「居場所」づくりと、新しい「コミュニティの創出」について解説します。
62	保育者が担う子育て支援	佐藤 千晶 (生活福祉、子育て支援)	現代社会において、なぜ子育て支援が必要なのか。また、いかにして保育者がそのニーズに応え得るか…。保育者が担う具体的な子育て支援方法の事例に学びながら、考えてみましょう。
63	児童福祉施設とソーシャルワーク	渡邊 瑞穂 (児童家庭福祉・社会的養護)	様々な理由で家族と暮らすことができない子どもたちがいます。児童養護施設の支援の実例を事例を通して学び、現代の子どもたちを取り巻く社会問題について考えていきます。
64	多文化共生社会における多文化ソーシャルワーク	野田 有紀 (多文化ソーシャルワーク)	日本国内で生活する外国人は年々増加しています。多文化共生社会の実現に向けて、様々な生活問題を事例にソーシャルワークの視点から具体的な支援について考えます。
65	社会福祉の視点について	李 恩心 (地域福祉)	社会福祉とは何かという問いをたて、社会福祉に関する視点を学び、制度の理解とともに制度の狭間の問題へのアプローチ方法としての地域福祉実践などについて考えます。
66	当事者と共に社会を変えるー認知症高齢者と支援者による社会変革ー	熊谷 大輔 (高齢者福祉)	認知症高齢者に関する基本的な理解と具体的なコミュニケーション方法を学び、認知症高齢者と支援者が共に実践する社会変革について映像を通して考えます。
67	障害とは何かを考える	根本 治代 (障害者福祉)	障害をもつ人も、もたない人も互いに支え合う社会が求められています。障害とは何か、障害をもつとはどのようなことなのかを、日常生活を通して構造的に考えていきます。
68	メンタルヘルスとソーシャルワーク	吉野 比呂子 (精神保健福祉)	我が国における今日的な精神保健の課題(いじめ、虐待、不登校等)を取り上げ、関連した精神疾患とソーシャルワークについて学んでいきます。
69	ソーシャルワーカーという仕事の魅力	坂入 竜治 (精神保健福祉)	身近な精神保健の課題を取り上げながら、人と環境(家族・職場・地域社会など)の双方に働きかけ、誰もが生きやすい社会をつくることをめざすソーシャルワーカーという職業の魅力について解説します。
70	子どものコミュニケーションと言語聴覚士の役割	小林 マヤ (言語聴覚障害学)	子どものコミュニケーションにおける様々な難しさには何があるか、また、言語聴覚士はどのようにそれらを支援するかについて解説します。
71	コミュニケーション障害と会話的相互行為	瀧田 隆史 (言語聴覚障害学、社会言語学)	高齢化社会における疾病構造の変化の中で、コミュニケーションに何らかの問題を抱える人の数も増加しています。コミュニケーション障害の種類や症状、医療専門職である言語聴覚士に求められる役割について学びます。また、人が会話をを行う中でどのような相互行為が組織されているのかについても考えていきます。
72	失語のある人に対する意思疎通支援の方法	竹中 啓介 (失語症学)	コミュニケーション障害は対話者の会話技術によって、障害が重くなったり軽くなったりします。本講座ではコミュニケーションが困難な失語のある人に対して、意思疎通を支援するための方法をレクチャーします。

<初等教育学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
73	幸せな人生のための発達心理学	石井 正子 (発達心理学)	日本人の平均寿命は年々伸び続け、100歳を超えるお年寄りもめずらしくない時代になりました。生まれた時から、死に至るまでを発達と捉え、人生の各ステージで達成することが望ましいとされる課題を「発達課題」と言います。幸せな人生のために今、何を大切に生きればよいのか、心理学研究の成果をもとに考えてみましょう。
74	子ども観と教育観の変遷 —西洋教育史の事例から—	伊藤 敦広 (教育思想史)	私たちにとって当たり前の教育の風景が生まれたのは、人類の長い歴史のスパンで見ると比較的最近になってからのことです。西欧の歴史を事例として、今日の子ども観・教育観がどのように生まれたかを考えます。
75	子どもの家庭生活 —家庭科の役割—	今井 美樹 (家庭科教育)	子どもにとって家庭はかけがえのないものです。小学校家庭科の学習内容を通して、子どもの家庭生活について知り、家庭科の役割について考えてみましょう。
76	赤ちゃんの笑顔を支えるために ～乳児保育に必要な養護技術～	遠藤 純子 (保育学)	人生の最初期に要求や気持ちを受け止められながら育つことは、その後の成長の大きな糧になります。乳児保育に必要な養護技術を学びながら、一人ひとりが大切に育てられるために私たちができることを考えていきましょう。
77	ピアノで巡る音楽鑑賞の世界	大澤 里紗 (ピアノ・演奏学)	みなさんが一度は耳にしたことのある名曲の数々を、作品の成立や作曲家の人物像、社会との関わりなどの解説を交えて鑑賞します。生演奏から様々な音楽の世界を巡っていきましょう。
78	Bostonでの参加・体験型の英語教育実践を！	國分 有穂 (英語科教育)	Bostonの小学校・幼稚園・保育園で英語活動を行う上で役立つ英語指導法をワークショップ形式で学んでいきます。指導の際に必要なClassroom English(教室英語)、現地での観光や視察で使える語彙・表現を身につけながら、英語らしい発音やリズムも身につけていきましょう。
79	わくわくしMATH —身の回りの算数・数学—	小林 広利 (算数・数学教育)	わくわくする授業の出発点は子どもの探究心を育てること。身の回りの算数・数学に触れながら考え続けることとは何かを考えていきます。算数・数学の不思議さや美しさを感じながら知の冒険に出かけましょう。
80	生活の中でみられる子どもの要求表現	寒河江 芳枝 (幼児教育・こども学)	子どもが生得的に備えている生きる力は、どのように形成されていくのでしょうか？だれもが通る乳幼児期にみられる葛藤から考えてみましょう。
81	教師という仕事の大切さ —理科授業を中心に—	白敷 哲久 (理科教育)	授業では子どもの知識を磨くとともに、心を育てることが大切なねらいです。理科の授業において、子ども一人ひとりの見方や考え方を重視し、子どもの実感を伴った感動的な理解を深める方法について、実技も含めながら具体的な講義を進めます。
82	日本が知らない日本のECECの魅力	鈴木 法子 (乳幼児教育)	私たちが当たり前のように受けてきた日本のECECは、他国から見ると驚きや魅力に満ち溢れています。でも、そもそもECECってなに？アジアの一国としての日本のECEC、乳幼児教育について、一緒に考えましょう。
83	What is History? —考える社会科—	鈴木 円 (社会科教育)	最近の社会科では「考える」ことが重視されています。イギリスの小学校の歴史単元“What is History?”の教材を用いて、暗記科目でない歴史の可能性を探ります。歴史に対する考え方が変わります。
84	体育は何を学ぶ教科なのか？	田島 宏一 (体育科教育)	「何のために体育の授業があるのか？」と問うと、「体力を高めるため」、「健康のため」という答えをよく耳にします。でも、体育科がめざしているのは本当にそれだけでしょうか。運動への意欲も運動能力も二極化が進む今、あらためて体育科が何をめざすのかを一緒に考えてみましょう。
85	「小学校の先生」という職業 —教師のコンピテンシーを考える—	鶴田 麻也美 (生徒指導)	「学校の先生」という職業のブラック化がいわれるようになりました。教員採用試験の倍率の低さ、退職者の増加も周知のところですが、それでも日本には幼稚園から高校まで109万人の教員が勤めています。それは、この仕事にたくさんの魅力があるからです。この109万人の先生方が身に付けているコンピテンシー(資質能力)から小学校教員という仕事を考えてみましょう。
86	日本・文化・ことば	豊田 千明 (日本文学)	さまざまなものを例にあげながら、ことばの背景にある文化について考えていきます。アジアの中でも独自の文化を形成した日本という国についても考えます。
87	20世紀音楽の冒険	永岡 都 (音楽学)	あなたは「音楽」と聞いて何を連想しますか？「音楽」の伝統的な概念を大胆に破壊し、「音楽とは何か」を真摯に問い続けた二十世紀の音楽家たちの活動を描きながら、現代社会と音楽の関係を見つめます。
88	比べてわかるヒトらしさ —チンパンジーにもできること、ヒトにしかできないこと—	中村 徳子 (比較発達心理学)	ヒトにしかできないことって何だと思いませんか？チンパンジーは系統発生的にみてヒトにもっとも近縁な種です。チンパンジーの赤ちゃんヒトの赤ちゃんの発達を比べることで、ヒトに固有な知性を探ってみましょう。
89	日本画と景色文化	早川 陽 (日本画・美術教育)	絵画として描かれてきた景色とは何か。風景画と山水画の揺れから表れた日本の景色の特徴について明らかにします。また造形・図画工作・美術教育が学校の授業にあることの意味、生活と美術の関係についても身近な視点から解き明かします。
90	昔話のいろいろ	平野 晶子 (国語科教育)	昔話について考えます。そこに隠れているものは何か、作家の書いた物語との違いは何か、国語で学ぶのはなぜか、いくつかの昔話を題材にお話しします。
91	愛をもって新しい時代の扉を開く	松本 淳 (比較教育・教育実践)	心と現実がつながっていることを自らの身体を使って理解します。自らの気持ちを転換することによって、現実を切り拓いていく実践へのアプローチと、学生たちの実践例を紹介します。
92	情報通信技術(ICT)は私たちの学びを変えるのか？	森 秀樹 (教育工学)	私たちはICTに囲まれながら日々生活しています。小中学校でも児童生徒1人1台の情報端末が整備され、ICTの活用が急速に進んでいます。ICTは私たちの学び方をどう変えるのでしょうか？教育でのICT活用の歴史をヒントに考えていきます。

<現代教養学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
93	日本の教育の特徴と不思議さ —諸外国との比較を踏まえ—	シム チュン・キャット (教育社会学)	「他を知り、己を知る」という言葉のように、自国をより知るためには他国との比較が重要です。この講義では、諸外国との比較を通じて日本の教育制度の特徴への理解を深めることを目指します。
94	女子大学は必要なのか？	シム チュン・キャット (教育社会学)	欧米社会では女子大学の存在が薄れつつある中、日本では全大学数の約1割を女子大学が占めているのはなぜでしょうか。女子大学の存在が男子への逆差別にならないかなどの課題も含め、その存在意義について生徒たちと議論を行いたい。
95	あなたは占いを信じますか	シム チュン・キャット (教育社会学)	宗教への関心が薄い日本人でも占いなら信じるのはなぜなのか、そもそも占いと宗教はどう違うのか、一方で世界中の多くの人々が神様の存在を信じている理由は何なのか、グローバルを語る前にまず宗教について考えてみませんか。
96	住みたい街ポートランドと東京	鶴田 佳子 (建築・都市計画)	全米一住みたい街と注目されているアメリカ西海岸オレゴン州ポートランド。豊かな都市文化や生活空間を通して東京と比較します。住む場所としての都市の魅力と課題は何かを考えていきます。
97	地域社会のデザイン	鶴田 佳子 (建築・都市計画)	災害時だけでなく日常においても人とのつながりや多様なネットワークは大切です。地域の課題と向き合い、解決に向けて、どのように人や地域とつながり、地域への愛着を見出したら良いか、事例を通して“まちづくり”について考えます。
98	「幸せ」は社会の目標となりうるのか？ —「国民総幸福」を目指すブータンの挑戦—	藤原 整 (地域研究・社会情報学)	近年、SDGs(持続可能な開発目標)と呼ばれる、国際社会共通の目標が注目を集めています。その背景には、社会の豊かさは物質的充足だけではなく精神的充足も重要である、という考え方があります。この講義では、「幸せ」をいち早く社会目標に取り入れた国として知られるブータンの事例を紹介いたします。
99	フィールドワークのすすめ	藤原 整 (地域研究・社会情報学)	21世紀に入り、あらゆる情報がインターネット上に溢れる時代になりました。しかし、現場に行かなければわからないこと、現地で話を聞いてはじめて理解できることが、世の中にはまだまだたくさんあります。この講義では、多様な事例を通してフィールドワークの意義を理解しながら「学問」の面白さについて考えていきます。
100	つながりを科学する —スマホ・SNSと人間関係	天笠 邦一 (メディア論)	スマートフォンが普及し、SNSの利用が容易になったことで私たちは他人とつながりやすくなりました。この授業では、その「つながり」の力と限界について学術的な視点から再考し、今後の社会のあり方を考えます。
101	メディアの報道は「真実」なのか？	小川 豊武 (社会学・メディア研究)	私たちは、日々、テレビやインターネットなどで様々なニュースに接していますが、それらは決してたった1つの「真実」をありのままに報道しているわけではありません。メディアは世界を様々な形で切り取って、みずから新しい現実をつくっています。本講義では、こうしたメディアの現実をつくる働きについて学びます。
102	広告を社会学する	小川 豊武 (社会学・メディア研究)	私たちの生活には、テレビCMや街頭広告など多くの広告があふれています。近年、インターネットの普及により広告はより不可視で巧妙なものになっています。広告の持つ社会的な働きについて学問的に考察します。
103	「地図のデータ」を活用する社会	相 尚寿 (空間情報科学)	みなさんは、地図アプリで最寄りの店舗が検索できることや雨雲の接近を通知されることの仕組みを考えたことはありますか？位置情報や空間データをキーワードに、観光、交通、防災など、社会での活用例を紹介します。
104	メディアから考える原爆	八木 良広 (社会学・オーラルヒストリー研究)	原爆は過去の出来事であり、現在の私たちにとって関係のないことでしょうか。文学や演劇、漫画、TV、映画等のメディアの中で描かれてきた原爆の捉えられ方を紐解きながら、現代社会における原爆について考えます。
105	「映像と社会」—「伊豆の踊子」 (川端康成原作)に見る“社会”—	福田 淳子 (日本文学:近現代)	過去6回にわたって映画化されている川端康成「伊豆の踊子」は、様々な意味で“社会”と関わりの深い作品です。映画と社会との関係について、映像表現と言語表現との比較を交えながら、考察します。
106	デジタル時代における文化の変容とその意義	福田 淳子 (日本文学:近現代)	進化を続けるデジタル化社会において、日本における文化がどのように変化しているのか、日本の伝統芸能や文学作品のアップデートを通して、その具体的な内容とその意義について考えてみましょう。
107	グローバル社会がもたらす「食」の変化	粕谷 美砂子 (生活経営学)	食と農・環境との関わりについて、「せたがやそだち」の野菜から世界の食をとりまく状況まで、地産地消、六次産業化、フード・マイレージ、エシカル消費、ハラールなどを題材に取り上げます。グローバル社会と食とのかかわりについて考えてみましょう。
108	ことばと社会	フフバートル (社会言語学)	「ことば」と言うと、思い浮かべるのが「国語」や「外国語」ですが、世界のほとんどの国が多民族国家なので多くの言語問題などを抱えています。この授業ではことばと社会との関連について各国の状況やその理論について学びます。

<健康デザイン学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
109	皮膚の科学	坪 信子 (皮膚科学・化粧品学)	私たちが地上で生活できるのは、皮膚という器官が私たちの身体を守っているからです。最近のトピックスも加えて皮膚の構造と機能、日常のお手入れについてお話しします。
110	ダイエットと運動を科学する	白川 哉子 (健康科学)	ダイエットになぜ運動が必要であるかを、運動による身体変化をもとに考える。健康的な身体と運動との関係を理解し、ダイエットになぜ運動が必要か考えましょう。
111	病気と栄養	花香 博美 (医化学・分子生物学)	病気をしたとき、どのような食事をとればよいのでしょうか？医学と栄養がどのように結びつくのか、研究医の視点からお話しします。
112	食事を設計してみよう	不破 眞佐子 (給食運営論)	大切な人への食事を考えてあげたい！でも、相手に喜んでもらえるにはどうやって考えたらよいのでしょうか？献立作成の時に、栄養士が工夫している点を一緒に考えてみましょう。
113	食品衛生を学んで安全安心	村松 朱喜 (食品科学・応用微生物学)	私たちは、安全で品質のよい食品を求めることが多いと思います。しかし、せっかく手にした食品もその扱い方を間違えると皆さんの健康を損なうものにもなりかねません。食品衛生について少し専門的なことを学んで、食生活の安心安全について考えてみませんか。
114	巧みな身体運動の科学	山中 健太郎 (身体教育学)	ヒトは様々な身体運動を巧みに行うことができます。歩いたり、箸を使ったり、といった運動をふだん何気なく行っていますが、これらは長い年月の学習によって身につけたものです。こうした身体運動を巧みに行うメカニズムと、そこにうまい・へたが生じるわけを考えてみたいと思います。
115	疲れてしまった時、あなたは何を食べますか？	渡辺 睦行 (食品機能学)	勉強で疲れてしまった時、運動で疲れてしまった時、あなたは何を食べますか？甘いものですか？酸っぱいものですか？ところで、寝すぎて疲れてしまった・・・なんてことはありませんか？疲れとは一体何なのか？そして、疲れてしまった時、一体に何を食べたら良いのか？考えてみましょう。
116	栄養カウンセリングの基本的技法	黒谷 佳代 (栄養学)	座学と簡単な演習を通じて、栄養カウンセリングの基本的技法を学びます。

<管理栄養学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
117	食品の構造と機能	伊藤 美香 (食品学・機器分析)	電子顕微鏡は高い分解能を持ち、光学顕微鏡ではできない高倍率での観察が可能となる。また、立体構造の観察に特化している走査型電子顕微鏡では、食品のミクロの構造を立体的に観察することが可能となる。このような食品のミクロ構造を示し、それが及ぼす食感や調理上の機能について考察する。
118	酸化ストレスとタンパク質	川崎 広明 (生化学)	酸素は体を傷つける凶器(酸化ストレス)にもなり、タンパク質を傷つけて病気の発症などにつながるということが知られています。本講義では酸化ストレスによるタンパク質傷害について、最新の研究成果も交えて解説します。
119	食べ物と健康の因果関係を探る	小西 香苗 (公衆栄養学)	食事として食べた食品(栄養素など)が我々の健康を左右していることは良く知られています。例えば、高食塩摂取と高血圧(脳血管疾患)発症との関連、高コレステロール摂取と冠動脈疾患(心筋梗塞など)との関連など。では、それら食べ物と健康(病気)との因果関連は科学的にどのようにして明らかになるのでしょうか? その実際を解説します。
120	「おいしさ」のひみつ	佐川 敦子 (調理科学・調理学実習)	私たちが感じる「おいしさ」とは、どのような要因によって影響をうけるのか、客観的な視点で「おいしさ」を解説します。「おいしさ」を決める要因には食べ物そのものの状態(味の他にも温度、香り、音、外観、テクスチャーなど)だけでなく、食べる人の状態(喜怒哀楽の感情、食欲状態、食文化など)も含め、様々な要因があることを紹介します。
121	生活習慣病と食生活	清水 史子 (臨床栄養学)	栄養の偏りが病気の原因や治癒を遅らせる原因になることがあります。肥満症や糖尿病などの生活習慣病が増加する一方で、無理なダイエットに起因する貧血 や低栄養なども問題となっています。そこで、本講義は健康と食生活について、身近な話題を中心に解説します。
122	病院での食事の現状について	調所 勝弘 (臨床栄養学)	自炊から始まった病院の食事は現在、医療の一環として提供され、患者の病状に応じた栄養量を与え、質の向上と患者サービスの改善を目指しています。このように供される病院の食事の現状を解説します。
123	腎疾患患者における食事療法	中西 員茂 (医学・腎・高血圧・透析療法)	腎疾患患者における食事療法の重要性について述べる。食塩制限の高血圧・循環器疾患・腎疾患における重要性は周知のごとくであるが、その方法について詳細に述べる。また、慢性期の腎疾患・透析患者におけるリン制限の重要性は、健常者のアンチエイジングにもつながり、興味深い分野である。この点について最新の研究結果も紹介しながら述べる。
124	記憶とつきあう: 体の中のマルチタレントプレイヤー、 グルタミン酸	林 真理子 (栄養生化学)	グルタミン酸は、うま味物質であり、タンパク質を構成する20種のアミノ酸の一つであり、神経伝達と記憶の形成に関わる神経伝達物質でもあります。私たちが食べたものが体の中でどう活躍しているのか、私たちの学習生活でどう生かされているのか、その一端をのぞいてみましょう。
125	学校給食と食育	星玲奈 (栄養教育・学校給食)	日本の学校給食は安価でおいしく、栄養バランスのよい食事を提供していることが世界にも知られています。学校給食の話と共に、栄養教諭配置によって子どもたちの食育がどのように変化してきたのかを解説します。
126	病原微生物と食中毒	榎田 和彌 (微生物学)	現在問題になりやすい食中毒や実際に起こった食中毒事件を中心に、原因微生物の特徴を踏まえた食品管理の問題点や食中毒の予防方法について解説します。
127	ご飯飯のすすめ	横塚 昌子 (栄養学)	日本人の主食は米である。米は炊いて「ご飯」として食べる。「ご飯」を食べるとどのような味がして、消化されると体内でどのように変化していくのかを探ってみる。

<食安全マネジメント学科>

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
128	お米のことをもっと知ろう	秋山 久美子 (食品化学)	うるち米ともち米の違いは何か。古米、新米の見分け方はどうするのか。玄米から搗精していく過程でぬか層はどうなっていくのか。簡単な 実験を行いながら説明していく。
129	食品の安全性と機能性	梅垣 敬三 (食品安全学)	健康効果などを標ぼうした食品の安全性と機能性の実態、およびそれらの食品の選択および安全かつ効果的な利用法について解説する。
130	主要臓器の位置とはたらき	曾田 功 (生物学、生化学)	主要臓器の位置とはたらき、血液循環系における相互の関連性について解説する。
131	食行動・心理をビジネスに活かす	清野 誠喜 (フードシステム論・食料経済学)	スイカは何曜日によく売れる? 消費者の食をめぐる行動・心理から、消費者との”コミュニケーション”のあり方を考えます。
132	食品の表示を読む	高尾 哲也 (食品加工学・食品科学)	食品に書かれている表示は、多くの事を私達に教えてくれます。ともすれば、包装に書かれているイメージで商品を選択してしましますが、その前に表示をチェックしてみましょう。
133	生活習慣病と睡眠	地家真紀 (公衆衛生学)	毎日とっている睡眠が生活習慣病と関連します。睡眠について考え直してみましょう。
134	健康食品の安全性を考えよう	横谷 馨倫 (栄養学・食品安全学)	健康食品の摂取により、健康被害を起こすことがあります。この講義では、健康食品の制度や正しい使用方法について解説します。

〈環境デザイン学科〉

講座 No	講座名	講師 (専門分野)	講義概要
135	日本人と畳	磯野 さとみ (日本建築史・日本住居史)	今日消えつつある畳敷きの部屋、この「畳」と日本人と住まいとのかかわりについて歴史的に紹介していく。
136	あたらしい建物	金尾 朗 (建築計画・都市計画)	個性やオリジナリティ、地域の個性などが求められている中、デザイナーがどのように新しい建物を考え、想像しているのかについて実例を見ながら考えていく。
137	都市とオープンスペース	金子 友美 (建築計画・住居計画)	図と地の関係から「建物を建てる」と「外部空間をつくる」ということを考えます。世界各地の広場や日本のオープンスペースの事例を紹介します。
138	空間のデザインについて	杉浦 久子 (建築デザイン)	都市、建築、インテリアなどの領域を越えてスペース・デザインという視点から私たちの暮らす場所を考察します。最新の実験的なプロジェクトを参照しながら、身近なスペースを新たな観点から見直し皆でつくっていきましょう。
139	1/1ワークショップのはなし	田村 圭介 (建築計画・意匠)	原寸大で小さいけれども人が利用できる構築物を作ることを目標に、毎年1/1ワークショップを学生と10年続けてきました。10作品の中には雑誌に掲載していただいたり、受賞したものもありました。このワークショップに参加した卒業生はいま建設業界で活躍しています。学生たちのモノづくり格闘のお話です。
140	室内環境と健康・快適	堤 仁美 (建築環境学)	現代社会において、私たちは一日のほとんどを室内で過ごしています。そのため、知らず知らずのうちに室内の環境からの影響を受けています。本講座では、室内環境と人間の健康性や快適性の関係について解説します。
141	建築と都市の歴史	戸田 穰 (建築史)	私たちの暮らす街には多くの建物がたっています。普段、それらにひとつひとつの存在を意識することはあまりありません。しかし、建物はひとたび建設されれば、長くそこに立ち続けます。そのひとつひとつの建物の物語を通じて、都市の成り立ちや、わたしたちの歴史を紐解きます。
142	三匹の子豚のおうち	中山 栄子 (材料学・環境科学)	私たちの住まいは“何”で“どう”いう風に“作られているのでしょうか？ 三匹の子豚さんのストーリーをお借りして、風土や文化に根差した住まいについて、一緒に考えてみましょう。 (環境科学分野:「文学作品に学ぶ環境科学」「PM2.5」と言ったテーマでもお話は可能です。)
143	すまいと生活 ～子ども部屋を考える～	番場 美恵子 (住生活学)	幼児、小学生、中学生、高校生…同じ子どもでも、成長段階で必要なものは変化し、当然求められる子ども部屋も異なります。その実情とあるべきカタチをみていきましょう。
144	建築に潜む力の流れを垣間見る	森部 康司 (建築構造・構造設計)	近年、ファッションやCMの背景として、建築家のデザインした美しい建物が取り上げられることが増えてきた。そうした建物では一見すると特徴的な外観やインテリアにばかりに目が行きがちだが、その裏には厳格な力学の世界が潜んでいる。そんな厳格の世界の一端を解説する。
145	モノのカタチの不思議	橋 倫央 (プロダクトデザイン)	蚊取り線香は、なぜ渦巻き状の形なのでしょう。それは、小さい面積で使用時間を長くする工夫と、製造・運搬において非常に効率的なためです。私達が普段使っている製品の形には、理にかなった意味があります。この講義では、実例を基にプロダクトデザインの役割を解説します。
146	「デザイン・ビフォア・アフター」	中田 士郎 (プロダクトデザイン)	現代の生活の中には様々な問題(社会的、人為的、物理的、身体的…)があります。それらの解決方法のひとつがデザインです。数々の事例を解説し、ビフォア・アフターでの変化にデザインがどう関わったかを考察していきます。
147	紙とデザイン	桃園 靖子 (プロダクトデザイン)	私たちの生活の中には、とてもたくさん紙が存在します。紙一枚がデザインと出会うと、どんな可能性を纏うことができるのでしょうか。目で感じ、手で触れながら紙のプロダクトについて考えます。
148	社会を少しよくなる 小さなもの	三星 安澄 (プロダクトデザイン)	プロダクトには、それが世の中にあることで、社会を少しよくなる変化させる力があります。この授業ではそういった事例を紹介して、デザインがもつ影響力、また日々に対するデザイナーの考え方などをお話したいと思います。
149	ファッションが生まれるまで —アパレルの企画・生産—	石垣 理子 (被服構成学・アパレルデザイン)	人々の生活を豊かに彩るファッションの中心にある衣服。シーズンごとに人を魅惑する新しいスタイル。これらはどのように生み出されてみなさんの手に渡るのでしょうか？アパレル(既製服)の企画、生産、販売の流れを追いながら、ファッションビジネスの一端を覗いてみませんか？
150	くらしと繊維	小原 奈津子 (テキスタイル材料学)	地球上に暮らす現代人として、科学技術が生活にもたらす恩恵や弊害を客観的に捉え、考える能力が求められています。この授業では、くらしのなかで接している物質の中でも特に繊維材料の性質や機能が現れる仕組みを解説します。
151	おしゃれの社会学 —ジブリとファッション—	菊田 琢也 (ファッション論・ファッション史)	「おしゃれ」とはなんでしょう？ スタジオジブリの登場人物たちの装いを例に、私たちが服を着て社会生活を送る理由、あるいはおしゃれをしたいと思う心理についてひも解きます。
152	身近な現象を考える —染色—	下村 久美子 (被服整理学・染織)	繊維の染色性について実験を交えて解説します。染色とはどのような仕組みか、染料の種類や染色機構は？染色の条件として考えられることは？染色とはなにか考えてみましょう。
153	アイスマンの装い	角田 由美子 (被服造形科学)	アイスマンは、1991年アルプスの氷河から発見された5300年前のミイラです。この男性は、革靴や帽子、外套、ベルトなど様々な革製品を身につけていました。これらの革製品が、5300年以上も使われ続けている理由を考えてみましょう。
154	地域とデザイン	内田 敦子 (地域デザイン)	日本各地で様々なまちづくり活動が行われていますがまちづくりにもデザインが重要な役割を担っています。事例を紹介しながらデザインの役割について考えます。
155	エネルギーとデザインと社会課題	オオニシ タクヤ (エネルギーデザイン)	世界には未だ電気の無い地域が多く残されています。エネルギーと産業、貧困、教育の問題は互いに深い関係にあります。この解決困難な社会課題に対し、タイの現地大学と共に行っているエネルギー支援プロジェクトを紹介します。
156	メディアとデザイン	鳥海 希世子 (メディア論)	私たちの日常は多様なメディアで溢れています。新聞やテレビ、スマートフォンからSNSまで、私たちは当然のように複合的なメディア環境のなかで暮らしています。この授業では、まずその当たり前さをふり返り、メディアと私たち、そして社会との関係性について考えます。
157	デザイン・デザイン	藤澤 忠盛 (デザイン構想・意匠設計)	数多くのスライド・映像を使い現代デザインをユニークに紹介します。ベルボトムジーンズはなぜ裾が広がっているの？ボカリスウェットのパッケージデザインはなぜ青色なの？国旗の色の意味は何？パリの洋服は本当にいいデザインなの？未来の車はどんな車？建築家はなぜ変わった建物を建てるの？などデザインの謎と真相に迫ります。
158	地球温暖化と再生可能エネルギー	桐山 恵理子 (エネルギー・環境デザイン)	皆さんが使う電気を発電する時にCO2を出さない再生可能エネルギーの活用は、地球温暖化対策として重要です。地球温暖化対策として地域に導入された再生可能エネルギーの具体的な事例をご紹介します。そして再生可能エネルギーが導入されることで、地域社会とそこに住む人々と自然環境がどのように変化していくのか、イノベーションは起こるのか、一緒に考えてみましょう。